

金工祭! SDGsを考える!



発行所 金沢市立工業高等学校
1-1-1 東田
1-1-1 田部
1-1-1 市立
1-1-1 金沢市
電話 (267) 3101 (代)

1面 金工祭
主張
かたつむり
2面 金沢相撲
オープンスクール
伝達表彰
大会成績



衣装大会・熱演

「工業高校から『みらい』を考える」をテーマとして、10月23日金工祭が行われた。「持続可能な開発目標」には深い関係があることを考え、工夫を凝らした。SDGsに配慮した「3箱作り」や、各クラスが設定した募金先への募金協力を呼びかけるポスターや募金箱が製作された。

10月22日に、金工祭が行われた。新型コロナウイルスの影響によって今年も去年と同様に一日だけの開催となった。

ステージ発表は個人でダンスをしていく人も多かった。また文化委員が主催した仮装大会も開かれた。去年の仮装大会と同様に各クラス代表一人だけの出場となった。各学年によってテーマが決まられ、1年生は「ドラゴンボール」、2年生は「プリキア」、3年生は「ポケモン」だった。また、吹奏楽部による生演奏や生花部による制限時間より美しく花を生ける対決などが行われた。

ICT委員の初の試みで光ホールに大型のプロジェクトが設置された。この試みは、新型コロナウイルスの対策の一つとして実施され、「会場にいくなくてもステージ発表を見ることができ」と好評だった。ぜひ、今後も続けてほしい。

コロナ禍での開催ということもあり、日数の短縮や外部の人々などで行うなどの制限があったが、そのような状況でも、各学年、各クラスが丸となり行動することによって金工祭をよりよいものにすることうができたと思う。来年以降もこの経験を活かし、思い出に残るような金工祭にしてほしい。

3年生は自分たちのクラスで決めた食べ物や飲み物を作り当日提供した。模擬店を行った。

今年の各クラスのメニューは、機械科1組 たこ焼き、機械科2組 ちゃんこ、電気科 焼き鳥、電子情報科 唐揚げ&ピカステラ、建築科 アイス。

3年 3年生は自分たちのクラスで決めた食べ物や飲み物を作り当日提供した。模擬店を行った。

2年 2年生はクラス企画を行った。機械科1組は「プリズンロー大会」、2組が「射的・ボウリング・野球」、電気科は「カジノ」、電子科は「射的」を行った。

1年 10月23日金曜日、金工祭が行われた。1年生は、沖繩をイメージしたモノUMENT作成、黒板アート、飾りつけを行った。1M1は「具志堅用高」、1M2は「戦争と平和」、1Eは「南国の海」、1Rは「ちえちえちえちえ」を作った。2年生は3年生、そして先生たちも参加した。

個人企画・ダンス 10月23日金曜日、金工祭が行われた。1年生は、沖繩をイメージしたモノUMENT作成、黒板アート、飾りつけを行った。1M1は「具志堅用高」、1M2は「戦争と平和」、1Eは「南国の海」、1Rは「ちえちえちえちえ」を作った。2年生は3年生、そして先生たちも参加した。

生花部のパフォーマンス 10月23日金曜日、金工祭が行われた。1年生は、沖繩をイメージしたモノUMENT作成、黒板アート、飾りつけを行った。1M1は「具志堅用高」、1M2は「戦争と平和」、1Eは「南国の海」、1Rは「ちえちえちえちえ」を作った。2年生は3年生、そして先生たちも参加した。

南国の海 首里城の再建

主張
私たちが、今何より大切にしたいのは、地球という星で生活していること、地球に大きな負担がかかっていること、多くの人は一般的な知識として知っているだろう。そう、環境問題である。これまでの人類が生活を豊かにするために森林を破壊し、海を汚し、空気を汚す。このまま環境破壊が進めば、広い地球の中でも人の住める土地はどんどん減り、少ない資源を奪い合っている。国と国同士が競争に発展することもあるだろう。そんな未来を回避するために個人でできることは、私たちが消費者一人一人の意識を変えていくことが大切だ。例えば、あまり必要ではないものは買

地球で起きている環境問題と、解決のために身近でできることを紹介する。

まず一つは、ゴミ問題だ。最近、世界中で脱プラスチックの動きが強まっている。その理由は、プラスチックごみによる海洋汚染だ。海がゴミであふれることで、海にすむ生物がゴミを間違えて食べてしまい、死んでしまうといった事故が多発している。

地球環境のために 私たちができること

発電と、原子力を使って行う原子力発電で作られている。化石燃料を使った火力発電によって発生する温室効果ガスは地球温暖化を進める要因である。地球温暖化が進むと、私たちがこの星に住める生物たちがこの星に住めなくなってしまう。そうならないためには、光発電や風力発電といった再生可

能エネルギーを使ったほうが、環境にも良いだろう。中でも私たちができることは、部屋の蛍光灯をLEDに変えることや、生活の中で、必要のないときはなるべく電気を切ることだ。環境問題の中でも最もポピュラーであるこの問題はなかなか、解決には至っていない。南極の水が溶けることで海面が上昇し、ど

浅野航 飲み込みまどん海にちが最も大切である。私たちが力を合わせてこれらの環境問題を解決し、私たちの子どもや孫、さらにはその子孫たちの代までもが快適に暮らせる地球をこれからは守っていくために、普段の暮らしの小さなことを心がけることが、大切なことだ。

と身近にできる解決法について紹介してきた。どの問題でも、みんなで力を合わせて地道にやっていくことで、いずれは解決できるだろう。これまでの人々が環境を破壊してきたという事実は変えることはできないが、これからの人々である私たちが、昨今の環境問題を解決していく必要がある。そのためには、私たち一人一人が環境問題に対しての興味・関心をも

最近、少しずつ肌寒い季節になってきましたね。まん延防止等重点措置が終わって少しずつコロナウイルスが落ちついてきているので、行動による制限が少し緩和されて以前より出かけやすくなったのではないかと思います。季節の変わり目、特にこの時期は気温の寒暖差が激しいため、体調を崩しやすいです。ロタウイルスやノロウイルスなど、ウイルス類は秋、冬になると空気が乾燥して活発になります。コロナウイルスが流行する前は、感覚的にインフルエンザの重要度が高かったけど今となっては、コロナウイルスの印象が強すぎてインフルエンザの存在が忘れられつつあるような気がします。また、インフルエンザもすっかりと気をつけなければいけません。わからないことがたくさんあります。例えばワクチンに関して、インフルエンザワクチンとコロナウイルスワクチンのどちらも打てばいいのか、どちらかだけに打てばいいのか、そもそも、作用的にどちらも打つていいのかなど。現状、全国的に感染者は少しずつ減少傾向になりつつありますが、しかし、少し油断していたら、時期的にも減少どころか増加していくと思います。ニュースで見ただけですが、ワクチンを二回接種して三日間入院待機している外国人がビジネスの場合のみ、日本国内に入国が可能になるそうです。これに対して、少し展開が早いのではないかと思います。せっかく感染者が減少してきたのにこの早い段階で入国可能にしたら、また感染者が増加して今までのようなことが水の泡になり兼ねないと思

い、実行することができたので楽しかった。といった感想を述べていた。また、クラス企画の他にも、ゴミ箱の製作や、文化部の展示の運営にも力を入れていた人もいた。金工祭では、協調性、自主性、積極性の大切さを学ぶことができた。

方にも沖繩をイメージした空間を届けることができた。このモノUMENTは、先生と生徒によって投票が行われた。結果は、最優秀賞は1A、優秀賞は1M1、優良は1Eとなった。モノUMENTを作るにあたっては、先生方からの真摯なアドバイスがあった。そしてみんなが自分と与えられた仕事をきちんとこなしたことで、1つものを作り上げるといふ素晴らしい感動ができた。このように金工祭をやりとげることができたのは、生徒と先生が信頼しあっていたからである。賞の結果を問わず、協力するに意味がある。今回の金工祭のテーマは「工業高校から未来を考える」であり、考えるよい機会になった。

山牧 慎也

山牧 慎也

山牧 慎也

山牧 慎也

山牧 慎也

金沢相撲開催 続け伝統・熱い応援



応援委員たち

高校相撲金沢大会が、卯辰山にて行われた。今回は、各校の応援人数が50人以上に制限される中で大会となった。吹奏楽部もチアリーダー部も参加できなかったが、日々練習を重ねた応援委員が力一杯の応援を届けた。

一〇月一〇日曜日に、卯辰山の秋晴れのもとで開催された相撲場で第105回高校相撲金沢大会が行われた。昨年度は中止となったので2年ぶりの開催だ。大会は最高気温29.7度と暑いから参加となったが大いに会場を盛り上げた。

「新型コロナの影響により満足に応援練習が出来なかったが、応援団長の谷内豪太さん、坂本育さんを中心に選手たちに一杯の応援を送ることができた。」

「相撲大会応援の感想をお願いします。」
「本番当日は、曇一つない快晴で最高の相撲日和となりました。気温は三十度を超える真夏日だったので、いつも通りの応援ができたかと心配していましたが、応援するとすると、その心配が消し飛ぶほどの迫力で、応援委員全員から気温に負けたくないという熱意が感じられました。その応援はきつと参加している選手にも届いていたと思います。応援に参加できなかった一・二年生にもこの応援が、市立工業高校の伝統として受け継いでほしいです。」

団長谷内さんにインタビュー

一年間応援委員として活動してきた3年電子情報科 谷内豪太さんにインタビューを行った。

「コロナ禍での応援委員の活動を振り返ってみてどうでしたか。」
「新型コロナウイルスによる制限により、応援委員全体の活動ができず、三年生のみでの応援練習を行った。」



団長 谷内さん・坂本さん

ようこそオープンスクールへ ー未来の金市工生を迎えてー

一〇月一六日土曜日、オープンスクールが開催され、金沢市立工業高校に心をもち中学生146人と保護者33人が参加した。



受け付け風景

「オープンスクールは午前部と午後部に分かれ、学校の説明や各科の説明見学が行われた。まず、受付で検温と消毒が行われた。その後参加生徒たちはメディアアホールなど六カ所に分かれてから、各科へ移動すると言った感染防止対策も徹底された。学校説明と各科の説明、見学に中学生と保護者は熱心に聞き入っていた。参加した生徒、保護者からは、「工業高校がこういう学びの場なのかわかってよかった。」「この科も説明がわかりやすくて興味があった。」「とても素敵な学校で楽しかった。」「この声も聞かされた。」「この学校で3年間学びたいと思うた。」といった感想もあり、大変好評だった。オープンスクールに参加した中学生たちの多くが、来年度の金沢市立工業高校生になってくれることを願う。



M科の様子

一〇月三十一日土曜日、金沢マラソン2021が行われ、今年も金沢市立工業高校からボランティアとして130人の生徒が参加した。今年も7回となる金沢マラソンだが、新型コロナウイルスの感染防止対策をとりながらの大会となった。当日は衆議院議員総選挙と日は定評があり、宝物といえるだろう。

金沢マラソンボランティア



声援を送る生徒たち

「程が重なってしまっていたが、大変よい天気になりました。朝早くから応援スポットで準備する市民に交じって、金市工生も黄色のスタッフウェアとキャップに身を包み集合した。各担当場所からランナーを一生懸命応援する姿に、「うれしかった」「力づけられた」と感謝する声があふいた。本校からは山田先生・西野先生・開上さんがランナーとして参加しており、生徒たちも応援にひととき力を貸した。金市工生の選手を応援する姿の素晴らしさは定評があり、宝物といえるだろう。」

伝達表彰 光ホールで

一〇月二七日水曜日、伝達表彰式が光ホールで行われた。今年度、伝達表彰式は新型コロナウイルスの感染予防のため、校長室で行われてきたが、今年度、光ホールでの伝達表彰式が実現した。校長室では一般生徒が参加することができず、寂しい思いもあった。光ホールでは、2階・3階に心ある生徒たちが集まり、素晴らしい成果を挙げた生徒たちに拍手を送った。光ホールから降るように響く拍手



光ホール上階から参加



表彰

大会成績

水泳・水球部 第42回北信越国民体育大会水球競技(7月31日~8月1日) 長野県長野東高校1位 団体 優勝 3M 塩村泰歩 3M 春谷大朗 3M 北 怜真 3E 中村蒼輔 3E 西田宗史 3E 森田晃輝 3E 和田涼空 2M 大演圭佑 2E 浦 緑至 1M 佐賀 慶 1R 清水信太郎 団体 2位 1R 森田咲咲 全国高等学校総合体育大会水球(8月17日~20日) 長野県長野東高校 球) 団体 ベスト16 3M 松村優汰 3M 塩村泰歩 3M 春谷大朗 3M 北 怜真 3E 中村蒼輔 3E 西田宗史 3E 森田晃輝 3E 和田涼空 2M 大演圭佑 2E 浦 緑至 2E 斎藤碧都 1M 佐賀 慶 1R 清水信太郎	バドミントン部 県高等学校新人バドミントン選手権大会(11月10日~13日) 加賀スポーツセンター) 団体 1位 2E 中橋一悠 2E 西村勇汰郎 2E 藤谷泰雅 2R 今越健太 2A 松岡琢久 2C 奥村涼大 1M 石本藍利 1M 銀治駿樹 個人 シングルス1位 2E 今越健太 2位 2E 西村勇汰郎 3位 1M 石本藍利 ダブルス 1位 西村 今越ペア 2位 藤谷 石本ペア 3位 中橋 松岡ペア 3位 奥村 銀治ペア	剣道部 第42回北信越国民体育大会(8月22日) 長野県中野市民体育館 団体 優勝 3M 角 博生 3C 森田翔喜 石川県高等学校新人体育大会(11月11日~13日) 津幡町運動公園 団体 3位 2M 石田大晴 2M 坂上優成 2M 篠井慶太 2E 南 格次 1M 石田慶朗 1M 堤 朔斗 1M 丸川大翔	バスケットボール部 石川県高等学校選手権大会(10月23日~24日) 志賀町総合体育館 3位 3E 鷹合力輝 3E 松川尚弘 3R 笠間健斗 3A 日爪瑛士 3C 瀬戸一稀 3C 中村大輝 2M 谷 悠馬 2M 松岡輝大 2E 大石雄輝 2E 北村崇翔 2E 野田拓海 2R 立川 心 2C 野村昊司 2C 野村 陸 2C 廣橋慧吾	和装部 2022 全日本きもの装いコンテスト 北陸・北越大会(10月24日) 金沢歌劇座 学校対抗の部 1位 Aチーム 3M 小泉菜摘 3M 白尾梨花 1R 磯賀 萌 学校対抗の部 3位 Bチーム 2M 大場晴輝 1M 後藤和季 1A 寺田るな	電気技術部 ジャパンマイコンラリー2022大会北信越地区大会(10月31日) 羽咋工業高等学校 個人 カメラ部門 第1位 3E 福塚悠人	新聞部 石川県高等学校新聞コンクール(11月11日) 北國新聞会館 総合の部 優秀賞 部門の部 奨励賞 3R 出村斗羽 3M 寺本哉偉 3M 越元丈流 3R 浅野 航 3R 砂山凌悠 3R 多田素晴 3R 東田侑大 3R 西出 響 2M 及川博幹 2M 山口楓東 2M 山牧慎也 2R 秋本歩夢 1E 寺田晃大 1E 西尾大毅	保健委員会 令和3年度石川県高等学校生徒保健推進講習会(8月5日) 誌上発表 特別賞 第65回石川県児童・生徒科学作品コンクール(10月30日) 石川県教員総合研修センター) 優秀賞 第65回日本学生科学賞石川県審査(10月30日) 石川県教員総合研修センター) 優秀賞 3M 松村優汰 3M 田中悠斗 3E 寺田海斗 3R 北川ひより 3A 松田百花 3C 常林坊直 2R 西山優輝	土木技術部 第21回高校生ものづくりコンテスト全国大会測量部門北信越大会(8月25日~26日) リトリートた 個人 第6位 3A 鳩嶋斗	建築部 ものづくりコンテスト北信越大会木材加工部門(8月28日~29日) 新潟県立上越総合技術高等学校 個人 第6位 3A 鳩嶋斗	相撲部 令和3年度県高等学校新人体育大会(9月19日) 七尾市愛宕山 団体 優勝 2M 上田剛毅 2C 小村玄太 1M 加藤梨生	柔道部 石川県高等学校新人大会(11月11日~13日) 県立武道館 個人 100kg超級 3位 2R 松本理玖	ハンドボール部 石川県高等学校新人大会(11月14日~14日) 金沢市中央市民体育館・小松総合体育館 団体 3位 2M 伊林陸玖 2M 雄谷 光 2M 津田 響 2E 高田航太 2C 森川珀翔 2C 今村竜貴 1M 浅野美翔 1M 間瀬彰雅 1M 山田啓生 1M 中山 響 1M 山田啓生 1R 元木来翔 1A 片桐真大 1C 岡部世泰	新体操部 石川県高等学校新人大会(11月14日) 日本校 個人 優勝 2C 中村 聖捺 3位 2R 村井 莉麻
---	---	---	---	--	--	--	---	---	--	---	---	--	--